

令和5年度 事業報告

1 概況

昨年5月、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類」へ移行したことを受けて、区内での行事や地域での活動が再開されるとともに、景気も緩やかな回復傾向にあります。しかし、混迷を深める中東やウクライナ情勢、中国の不動産不況など景気の下振れリスクを抱え、不透明な経済情勢が続いています。

このような中で、令和5年度は、第3次中期計画中間年度として、事業の拡充・見直しに取り組みました。就業開拓事業では、タブレット端末等のデジタル機器を活用することで就業開拓員と職員間の情報共有を促進するとともに、顧客情報の一元管理による業務の効率化に取り組みました。清掃基礎・安全研修では、研修内容を見直して、従来の座学研修から、プロ講師による実習を中心とした研修にすることで、会員の就業のレベルアップを図りました。公益活動では、昨年10月にプレシニア世代の区民を対象に「お金」と「健康」をテーマにした講演会を大田区と共催しました。

このように、令和5年度事業計画や第3次中期計画のもと、各事業を推進してきた結果、会員数については、令和5年度末現在 3,094 人で、会員を減らすセンターが多い中で1人の増となりました。契約金額については、請負・委任業務では919 百万円、前年度比 58 百万円（6.74%）の増額となりました。また、シルバー派遣についても、169 百万円、前年度比 27 百万円（19.01%）の増となり、両者を合計した契約金額は、1,089 百万円と前年度を 85 百万円（8.47%）上回り、中期計画の目標 1,030 百万円を 59 百万円（5.73%）上回りました。

令和6年度は、第3次中期計画の最終年度となります。計画の進捗状況を分析し、遅れのみられる事業については目標達成に向けた取組み強化を図ってまいります。

2 令和5年度の基本方針

- （1）就業開拓事業を強化し、会員増強に取り組みます。
- （2）会員の健康・安全を確保します。
- （3）会員と地域高齢者との交流の場を整備し、高齢者の生きがいをづくりに取り組みます。
- （4）会員・職員の資質の向上に努めます。
- （5）会員、発注者の期待に応える、満足度の高いサービスの提供を目指します。
- （6）DX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組みます。

3 令和5年度の事業実績

＜令和5年度の目標数値と実績＞

項 目	目標数値	実 績
会員数	3,150 人	3,094 人
契約金額（請負・委任）	886 百万円	919 百万円
契約金額（派遣事業）	144 百万円	169 百万円
契約金額（合計）	1,030 百万円	1,089 百万円

＜会員数及び契約金額の年度別一覧表＞

（単位：人、千円）

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会員数	3,114	3,096	3,026	3,093	3,094
契約金額（請負・委任）	919,233	836,766	831,202	861,066	919,403
契約金額（派遣事業）	102,682	107,589	141,554	142,503	169,245
契約金額（合計）	1,021,915	944,355	972,756	1,003,569	1,088,648

4 事業の重点目標及び事業実施報告

（1）就業の拡大（就業開拓の強化による受託事業の拡大）

- ① 就業開拓業務にタブレット端末を導入し、訪問記録を適時基幹システムに登録することで、就業開拓員と職員間の情報共有を促進するとともに顧客情報の一元管理による業務の効率化を図りました。
- ② 就業開拓業務の訪問先リストを更新し、新規顧客延 4,767 件に対する訪問活動を実施しました。また、既存発注者延 137 件を訪問し、現契約における問題等の解消に取り組みました。
- ③ 就業開拓推進員が、月 1 回ハローワークを訪問し、担当者と情報交換をすることで、地域の求人動向を把握し就業開拓に活用しました。
- ④ 東京しごと財団と連携した就業開拓を実施しました。財団担当者のノウハウを就業開拓員と共有し、専用チラシを活用するなどして、スーパーマーケットの就業開拓に取り組みました。
- ⑤ 大田区高齢福祉課に対し、区事業における更なるセンター活用を依頼しました。
- ⑥ ちょこっとサービス、その他家庭向けサービス拡充のため、大田区に依頼し、区関連施設に、家庭向けサービスのチラシを設置しました。
- ⑦ センターの受注情報の一部を掲載したチラシ「シルにゃんのこんなお仕事あります」を 11 回（計 23 種類）会員に配布しました。
- ⑧ 体験就業（マンション清掃、除草、家事援助）を計 24 回（計 39 人参加）実施し、就業に繋げました。

- ⑨ 令和5年度よりマンション清掃・安全研修及び清掃基礎・安全研修後に就業相談を実施、計24人の就業相談を受け、18人の就業が決定しました。
- ⑩ 7月21日と11月13日に「いきいきしごとステーション」主催の合同就職面接会に参加し、出展企業に対しシルバー事業をPRしました。

(2) 会員の増加に向けた取組強化

- ① ホームページで入会説明動画を閲覧できる「Web 入会説明会」を活用し、94人が入会しました。また、入会説明・登録会を、4月に嶺町集会室、10月に大田文化の森、2月に池上会館で出張開催し、計52人が入会しました。
- ② 大田区関連施設等88か所にセンター広報誌やリーフレットを設置しました。イベントでの広報誌・リーフレットの配布、新聞折込広告チラシの掲出（6月、10月、11月、2月）、LINE 広告の掲出（4月、10月、1月）による会員募集にも取り組みました。
- ③ 令和4年度に刷新したリーフレットをOTAふれあいフェスタ、区役所パネル展、グランデュオ蒲田3階連絡通路での広報活動等で活用し、会員募集に取り組みました。
- ④ 未就業相談会を5月、8月、11月、2月に実施（延37人参加）し、未就業会員の意向の把握とセンター事業への参加提案を行いました。
- ⑤ 令和5年1月に会員を対象に実施した「より良いセンターづくりのためのアンケート」の結果を分析し、11月に報告書を公表しました。
- ⑥ シルバーサロン再開に向け、ボランティアの募集を行うなど準備を進めました。
- ⑦ 2月に保育補助講習会と入会説明・登録会を同時開催し、5人が入会しました。
- ⑧ センター広報誌に入会に関するチラシを同封し、会員によるセンターのPR活動を促進しました。

(3) 安全就業及び適正就業の徹底

- ① 事故の該当会員に対して、再発防止対策のため注意喚起を図りました。3月に「ヒヤリハット事例にみるリスクランキング」を作成しました。
- ② 年間計画に基づき、毎月（計30回）適正・安全委員による安全パトロールを実施し、就業中の事故防止に努めました。特に、就業会員に対し危険予知（KY）の徹底を図るため、安全就業基準のほか、危険予知テキストの活用を促しました。
- ③ 3月に蒲田警察署の協力のもと、自転車交通安全教室を開催し、会員計18人が参加しました。また、3月に大森消防署の協力のもと、AED使用法講習会を実施し、会員26人が参加しました。
- ④ 適正・安全委員会と会員開発委員会とで連携した研修計画を立て、研

修を実施しました。KY（危険予知）訓練を取り入れた動画作成に取り組みました。

- ⑤ 2月に健康診断受診状況調査を実施し、会員が自身の体調を把握して就業できる体制をつくりました。
- ⑥ 体力測定会（7月、12月）を実施し、計56人が参加しました。また、健康運動教室（7月、11月、1月、2月）を開催し、計90人が参加しました。
- ⑦ 新規発注者から依頼があった際に、適正就業ガイドラインを配付し、適正就業の徹底を図りました。

（4）研修・講習事業及び調査研究事業の拡充

- ① あらゆる職群で必要となる知識（接遇・人権・個人情報保護・非行及びハラスメント防止）を学ぶ「就業基礎研修」を11月と12月に計6回開催し、203人が参加しました。
- ② マンション清掃・安全研修を6回（計44人参加）、清掃基礎・安全研修を5回（計40人参加）、ハウスクリーニング研修を6回（計25人参加）、植木の剪定基礎（低木）研修を4回（計42人参加）実施しました。また、上級者向けの「経験者向け清掃研修」を2回（計15人参加）実施し、会員の理解度、技量に合った研修を選択して受講できる体制を構築しました。
- ③ 接遇マニュアル(基礎)を改訂、ホームページの会員専用ページに掲載し、会員が接遇に関して学べる環境を整えました。
- ④ 就業会員の養成・満足度向上を目的に実施した「就業会員養成セミナー」は、4～7月に「スマホサロン」を計8回、9月に「身だしなみセミナー」を1回、11月に「調理セミナー」を1回実施しました。「一般事務セミナー」は昨年度（2回）よりも回数を増やし、年4回（6月、7月、1月、2月）レベル別で実施しました。

（5）普及啓発事業の拡充

- ① 広報誌は、センターの活動を広く周知するため毎月1回、年12回発行しました。また、会員拡大広報誌として7月号と10月号に会員募集記事を掲載しました。蒲田法人会の会報誌に同封する形式で、法人会員に10月号と1月号を送付しました。
- ② 11月4日・5日に「OTAふれあいフェスタ」に参加し、大田区シルバー人材センターのPRを行いました。
- ③ 区本庁舎等の窓口の26か所の行政モニターにデジタル広告を掲出し、普及啓発を図りました。
- ④ センターの活動内容をわかりやすく発信するために、筆耕と出張着付けサービスに関する動画を制作しました。また、イベント時にセンターが作成した動画を放映し、対外的なPRを図りました。

- ⑤ 4月、10月、1月に大田区内の60歳以上を対象にLINE広告を掲出し、YouTube広告とバスの車体側面広告（京急バス3台・東急バス3台）を1年間掲出しました。また、12月から東急バスの車内アナウンス広告と車内ディスプレイ広告を掲出しました。
- ⑥ 11月20日～22日には、大田区産業プラザPiOにおいて「いきいきシルバーフェア2023」を開催し、センターのPRを行いました。企業等の講演会、体験コーナー、職群PR展示、会員の作品展示、社会活動サークル等の紹介、入会や仕事の相談、懇談コーナー等を実施しました。広報誌やパンフレットを配布し、入会の相談も受け付けました。
- ⑦ 大田区役所本庁舎のインフォメーション広告、京急バスの車内アナウンス広告を継続して実施しました。また、5月から7月までの3か月間、京急線車内ドア横ポスター広告を掲出しました。10月、区内の駅構内（JR2駅、京急線10駅、東急線18駅19か所）にセンターのポスターを2週間掲出しました。
- ⑧ 3月11日から15日までの5日間、大田区役所3階のオープンスペースでパネル展を開催しました。

（6）公益活動の推進

- ① 区民を対象とした老後の生活に役立つ情報を提供するセミナーとして、10月29日に大田区と共催で「プレシニア向け『お金』と『健康』セミナー」を開催し39人が参加しました。

（7）社会奉仕活動の推進

- ① 会員の地域ブロック活動として、環境美化活動を計39回実施しました。
- ② 会員がちょこっとサービス事業（65歳以上の高齢者世帯に対するゴミ捨て、電球交換等）に取り組み、年間257件の実績がありました。また、たすかるサービス事業（植木の水やり、粗大ごみの搬出等）については、年間555件の実績がありました。
- ③ 会員の地域ブロック活動として、特別出張所及び地域団体主催イベントのボランティアに参加しました。
- ④ シルバーサロンは、新しい施策「スマホ使い方相談」を取り入れた形式での再開に向け、実施要領の作成等に取り組みました。
- ⑤ 大田区くすのき園利用者との交流や自然とのふれあいを目的とする菜園（農園）活動については、継続的に取り組みました。本事業は、園の建替え工事のため3月末で終了しました。

（8）事業運営の安定化と効率化の徹底

- ① 国の補助金や区受託事業などを有効活用し、シルバー派遣事業等実施のための職員を増員し、体制を整えました。
- ② 蒲田分室が担当する職種を希望する会員に対し、蒲田分室職員が声か

けし、随時就業相談を実施し、就業会員の確保を図りました。

- ③ タブレット端末を活用し、理事会を効率的に運営しました。
- ④ 令和5年10月から開始されたインボイス制度への対応として、電子帳簿保存法の保存要件に対応した証憑電子保管サービスを導入し、適切で効率的な事務処理を行いました。
- ⑤ 組織運営に必要な知識を得るための役員向け研修を2回実施しました。
- ⑥ 東京しごと財団主催の研修等に職員が延90人参加しました。

5 会員の状況

入会説明・登録会は、本部での通常開催と出張入会説明・登録会を開催しました。Web入会を利用した入会者が94人となり全体の20.39%を占めました。入会者は64人減少し、退会者は2人増となりました。会員数は1人増加し、平均年齢は0.2歳増となりました。

項 目	令和5年度末	令和4年度末	前年度比	
会員数	3,094人	3,093人	1人増	100.03%
男性	1,776人	1,772人	4人増	100.23%
女性	1,318人	1,321人	3人減	99.77%
会員の平均年齢	75.4歳	75.2歳	0.2歳増	
男性	76.0歳	75.8歳	0.2歳増	
女性	74.5歳	74.5歳	増減なし	

<令和5年度末の入退会者数は以下のとおり>

項 目	令和5年度末	令和4年度末	前年度比	
入会者数	461人	525人	64人減	87.81%
退会者数	460人	458人	2人増	100.44%

6 事業の実績

(1) 請負・委任事業における受注件数と契約金額

令和5年度末の受託件数・契約金額（請負・委任）は、下表のとおりです。「公共」と「民間」の契約金額の比較は、「公共」55.16%（前年度53.83%）、「民間」44.84%（前年度46.17%）、前年度比で「公共」が1.33ポイントの増加となりました。

項 目	令和5年度末	令和4年度末	前年度比	
受託件数	17,746件	17,660件	86件増	100.49%
公共	3,606件	3,590件	16件増	100.45%
民間	14,140件	14,070件	70件増	100.50%
契約金額	919,403千円	861,066千円	58,337千円増	106.77%
公共	507,171千円	463,550千円	43,621千円増	109.41%
民間	412,232千円	397,515千円	14,717千円増	103.70%

(2) シルバー派遣事業における受注件数と契約金額

シルバー派遣事業は、令和5年度に8年目を迎えました。区立・私立保育園での保育補助業務やスーパー店舗での各種業務、選挙関連業務に加え、新たに企業・病院等での事務業務、公共施設の受付業務、学生食堂・飲食店での調理補助、工場での金属加工業務、物流センターでのピッキング業務等、多様な業務を受注しました。着実に実績を積み重ね、令和5年度の契約金額は前年度比で118.77%でした。なお、公益財団法人東京しごと財団からセンターが受け取った令和5年度の事務委任手数料は、19,847千円（税込）でした。

項 目	令和5年度末	令和4年度末	前年度比	
受託件数	278 件	241 件	37 件増	115.35%
契約金額	169,245 千円	142,503 千円	26,742 千円増	118.77%

(3) 年間就業実人員

令和5年度の請負・委任就業実人員は1,737人で令和4年度の1,871人と比べ、134人減少しました。派遣就業実人員は369人で令和4年度の333人と比べ、36人増加しました。請負・委任、派遣の重複が121人いたため、全体の就業実人員は1,985人となりました。

(4) 年間就業率

令和5年度の年間就業率は56.14%となり、前年度から4.35ポイント減少しました。また、シルバー派遣事業を含めた年間就業率は64.16%となり、前年度から2.18ポイント減少しました。

※ 就業率：全会員中どれくらいの人が就業したかを示す数値

7 その他の事業実績

(1) 相談事業

原則月3回実施した入会説明・登録会では、「大田区いきいきしごとステーション」の紹介も行い、入会に際して多様な働き方の提案をしました。

未就業相談会には延37人が参加し、就業等に結びました。また、就業に関する相談については、本部及び蒲田分室で随時実施しました。

(2) 独自事業

① カルチャー講座

項 目	令和5年度	令和4年度	前年度比	
受注金額	148 千円	153 千円	5 千円減	96.73%

(3) 高齢作業所

「こらば大森」の作業室で部品の組み立て・包装作業を実施しました。受注金額は、2,341 千円、前年比で 93.30%となりました。

(4) 家事援助・子育て支援事業

家事援助・子育て支援事業説明会「レッツトライ!家事援助!!」を計 6 回開催し、27 人の会員が参加しました。また、どのような就業であるかを個人家庭で体験する「体験就業」を随時行い、19 人の会員が参加しました。

コロナ禍のため中止していた、家事援助就業会員向けの会員同士が気軽に話せる場所「かこサロ」を 5 月より再開し、計 6 回開催 36 人の会員が参加しました。

家事援助サービス及び子育て支援サービスの受注金額は 30,161 千円で、前年度比 105.60%となりました。

(5) ちょっとサービス

65 歳以上の高齢者世帯を対象に、ごみ出しや電球交換などの簡単な日常のサービスを行いました。

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度	前年度比	
受注金額	1,051 千円	758 千円	293 千円	138.65%
件 数	257 件	166 件	91 件増	154.82%

8 附属明細書

令和 5 年度事業報告に、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の附属明細書」として記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

※単位が百万円、千円の場合は小数第 1 位を、単位が%の場合は小数第 3 位を四捨五入しています。